

第2章 環境影響評価を実施しようとする地域及びその地域の概況

2-1 環境影響評価を実施しようとする地域及び地域特性を把握する範囲

本事業による環境影響評価を実施しようとする地域（以下「調査地域」という。）は、次の点を勘案し、特に広域的に影響が生じると想定される煙突排出ガスによる大気質の影響が想定される地域を十分に包含する範囲として、対象事業実施区域の中心から半径約1.6kmの範囲（該当市：京田辺市及び枚方市の2市）と、関連車両の主要走行ルートのうち相当台数の車両が分散せず沿道環境影響が想定される範囲として国道307号の長尾杉線との分岐箇所までを設定した（図 2-1.1及び図 2-1.2参照）。

[煙突排出ガスによる大気質の影響が想定される地域を十分に包含する範囲]

- ・「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針」（平成18年9月、環境省）において、煙突排出ガスによる影響の調査対象地域として、最大着地濃度出現予想距離の概ね2倍を見込んだ範囲を設定する方法が示されている。
- ・本施設の近傍に位置する枚方市東部清掃工場について、環境影響評価手続^{注1}の中で煙突排出ガスの予測を行っている。処理能力は本施設よりも大きい施設であり、現地の気象データに基づく最大着地濃度地点は0.8kmとなっている。
- ・本事業の配慮書手続の中で、煙突複数案での最大着地濃度の検討を行っており、最大着地濃度地点は0.8km未満となった。ただし、予測に用いた気象データは、既存大気測定局のデータであり現地で測定したものではないため、今後、精度を高めるための現地調査を行うこととしている。
- ・以上を踏まえ、方法書の調査地域については、安全側の観点から東部清掃工場での最大着地濃度地点（0.8km）の2倍とし、1.6kmとする。

また、地域特性を把握する範囲は、調査地域及びその周辺地域（以下「調査地域周辺」という。）とする。ただし、市町村単位で公表されている統計資料等を出典とする地域特性については、該当市の全域を範囲として把握した。

注1. 「枚方市ごみ処理施設（仮称）第2清掃工場建設計画に係る環境影響評価書」（平成11年11月、枚方市）による。本事業で建設を予定する施設より処理能力が大きく、同程度の煙突高さ(100m)の事例である。

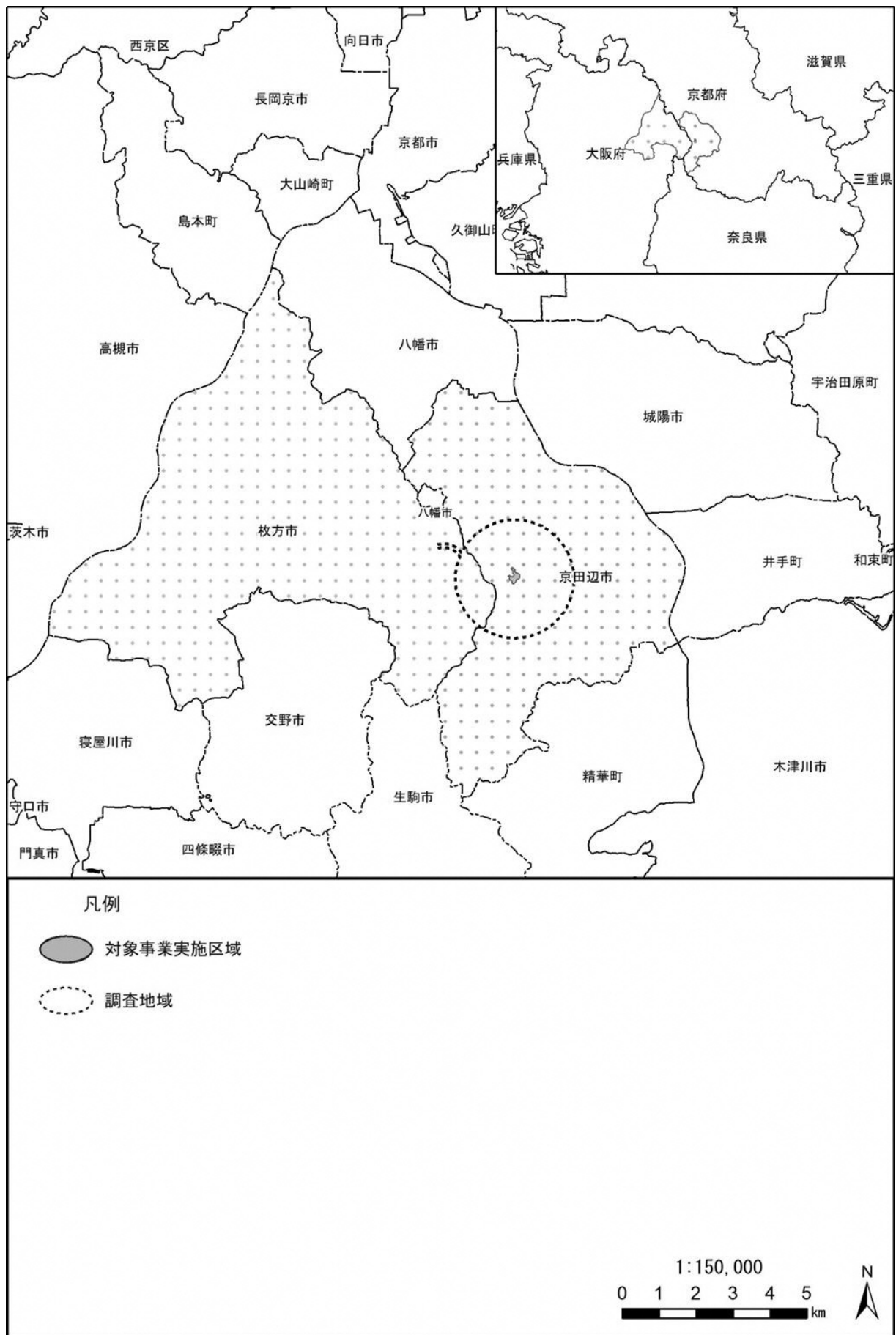


図 2-1.1 調査地域位置図（概略）

2-2 環境影響評価を実施しようとする地域の概況

2-2-1 自然的状況

(1) 気象、大気質、騒音、振動その他の大気に係る環境の状況

1) 一般的な気象の概況

対象事業実施区域の位置する京都南部地域は、日本の気候区分によると瀬戸内気候区に属しており、一般的に温暖な気候である。

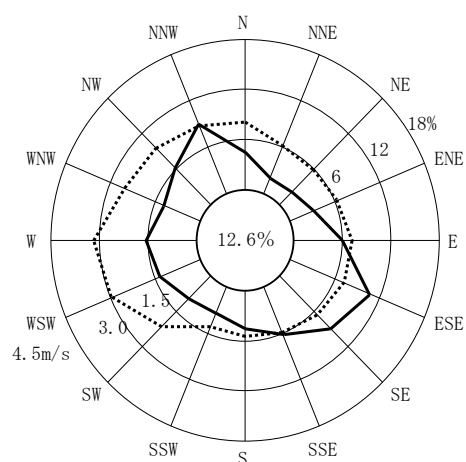
調査地域周辺における気象観測所としては、対象事業実施区域の北約3kmに位置する京田辺地域気象観測所（京田辺市薪西浜）があり、平成24年～平成28年にかけての気象概況を表2-2.1に、風配図を図2-2.1に、気象観測所位置図を図2-2.2に示す。

これによると、年平均気温は15.6℃、年平均風速は1.8m/s、年降水量は1,642.8mmであり、最多風向は東南東である。

表 2-2.1 気象概況

月	気温			降水量							風	
	平均(℃)	最高(℃)	最低(℃)	合計(mm)	1mm以上(日)	10mm以上(日)	30mm以上(日)	50mm以上(日)	70mm以上(日)	100mm以上(日)	平均風速(m/s)	最多風向(16方位)
1月	4.1	9.3	-0.3	61.5	6.2	2.0	0.4	0.2	0.0	0.0	1.9	W
2月	4.4	9.8	0.2	79.4	7.2	2.8	0.6	0.2	0.0	0.0	2.0	NW
3月	8.7	14.7	2.8	136.9	9.8	4.6	1.6	0.2	0.0	0.0	2.1	NNW
4月	14.0	20.4	8.1	111.8	11.2	3.2	0.8	0.2	0.2	0.0	2.1	ESE
5月	19.3	26.1	12.9	73.6	6.8	2.8	0.4	0.0	0.0	0.0	1.9	ESE
6月	22.9	28.1	18.2	233.5	11.4	6.4	2.2	1.2	0.8	0.0	1.8	ESE
7月	27.1	32.5	22.9	170.9	12.6	5.2	1.4	0.6	0.4	0.2	1.7	SE
8月	27.9	33.8	23.4	273.4	11.8	5.0	2.6	2.0	1.4	0.8	1.7	ESE
9月	23.4	29.1	19.1	216.3	11.2	5.4	1.8	1.2	0.8	0.4	1.4	NNW
10月	17.9	24.0	11.9	100.1	6.6	3.0	1.2	0.2	0.0	0.0	1.6	NNW
11月	11.6	17.0	7.0	105.2	8.4	3.8	0.8	0.0	0.0	0.0	1.5	ESE
12月	6.2	11.2	1.8	80.2	7.0	3.6	0.4	0.0	0.0	0.0	1.9	W
年	15.6	21.3	10.7	1,642.8	110.2	47.8	14.2	6.0	3.6	1.4	1.8	ESE

出典：「過去の気象データ検索」（気象庁ホームページ）



注1. 実線は出現頻度、破線は平均風速、円内数字は静穏率を示す。

注2. 平成24年1月～平成28年12月までの集計値

注3. 静穏率：静穏（0.2m/s以下）の出現率。

出典：「過去の気象データ検索」（気象庁ホームページ）

図 2-2.1 風配図

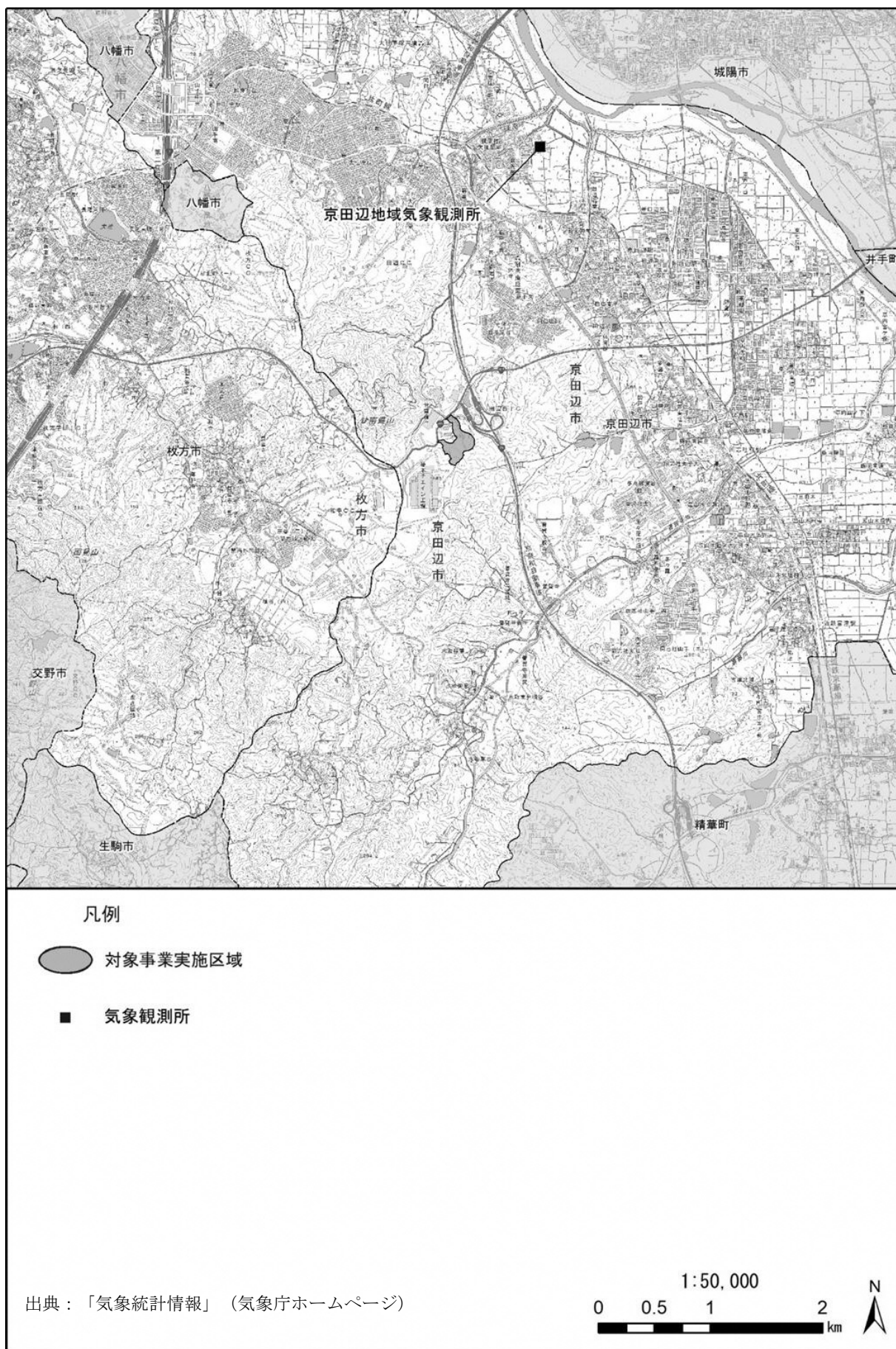


図 2-2.2 気象観測所位置図

① 気温

京田辺地域気象観測所における気温の経年変化を表 2-2.2に示す。平成28年の平均気温は16.3℃となっている。

表 2-2.2 気温の経年変化

区分	年次	平均 (℃)	最高 (℃)	月日	最低 (℃)	月日
京田辺市 (京田辺地域気象観測所)	平成 24 年	15.2	37.2	7/28	-6.4	2/3
	25 年	15.6	38.3	8/12	-5.3	1/6
	26 年	15.3	37.9	7/26	-5.3	1/7
	27 年	15.9	38.2	8/2	-4.8	1/2
	28 年	16.3	37.8	8/6	-5.5	1/26

出典：「過去の気象データ検索」（気象庁ホームページ）

② 降水量の経年変化

京田辺地域気象観測所における降水量の経年変化を表 2-2.3に示す。年間降水量は、1,387.0～1,750.0mmで推移している。

表 2-2.3 降水量の経年変化

区分	年次	年間総量 (mm)	日最大 (mm)	月日	1 時間最大 (mm)	月日
京田辺市 (京田辺地域気象観測所)	平成 24 年	1,680.0	143.5	8/14	78.0	8/14
	25 年	1,685.5	152.0	9/16	56.5	7/13
	26 年	1,387.0	151.5	8/9	38.5	8/9
	27 年	1,750.0	116.5	7/17	31.5	7/10
	28 年	1,711.5	128.5	8/16	65.0	8/16

出典：「過去の気象データ検索」（気象庁ホームページ）

③ 風向・風速

京田辺地域気象観測所における風向・風速の経年変化を表 2-2.4に示す。

表 2-2.4 風向・風速の経年変化

区分	年次	平均 (m/s)	最大 (m/s)	月日 (風向)
京田辺市 (京田辺地域気象観測所)	平成 24 年	1.8	11.9	4/3 (西)
	25 年	1.9	10.7	4/6 (東南東)
	26 年	1.8	10.4	6/5 (東南東)、8/10 (東南東)
	27 年	1.7	11.2	8/25 (南東)
	28 年	1.7	8.5	1/20 (西)、2/9 (西)、4/17 (西南西)

注. 月日 (風向) は、最大風速を記録した月日とその風向を示す。

出典：「過去の気象データ検索」（気象庁ホームページ）

2) 大気質に係る環境の状況

京都府並びに枚方市では大気汚染の状況を把握するため、監視網となる大気測定局を設置し、大気汚染物質の濃度等を測定している。調査地域周辺では、一般環境大気測定局として田辺局（京田辺市田辺明田）及び王仁公園局（枚方市王仁公園）が設置されている。また、「第二京阪道路（大阪府域）環境監視の在り方に関する検討会」が設置・監視を行っている第二京阪道路環境監視局として長尾局（枚方市長尾台）及び津田局（枚方市津田東町）で測定が行われている。また、最も近隣のダイオキシン類常時監視地点として、王仁公園局で平成26年度まで隔年で測定が行われていた。なお、測定項目のうち、炭化水素は環境基準がないため、ここでは整理していない。

調査地域周辺の大気測定局における測定項目を表 2-2.5に、大気環境測定位置を図 2-2.3に示す。

表 2-2.5 大気測定局における測定項目

番号	区分	市	名称	測定項目								
				二酸化硫黄	窒素酸化物		光化学オキシダント	浮遊粒子状物質	炭化水素		微小粒子状物質	ダイオキシン類
					二酸化窒素	一酸化窒素			非メタン	メタン		
				SO ₂	NO ₂	NO	O _x	SPM	NMHC	CH ₄	PM2.5	
1	一般環境	京田辺市	田辺局	—	○	○	○	○	○	○	○	—
2	大気測定局	枚方市	王仁公園局	○	○	○	○	○	—	—	○	○
3	第二京阪道路	枚方市	長尾局	—	○	○	—	○	—	—	—	—
4	環境監視局		津田局	—	○	○	—	○	—	—	—	—

注1. “—” は、測定が実施されていない項目を示す。

注2. 番号は、図 2-2.3 に対応している。

注3. 王仁公園局では平成 27 年度以降、大気中のダイオキシン類の測定を実施していない。

出典：「京都府大気常時監視情報」（京都府ホームページ）

：「平成 29（2017）年版 環境データ集」（平成 29 年、枚方市）

① 二酸化硫黄測定結果

二酸化硫黄測定結果を表 2-2.6に示す。王仁公園局における二酸化硫黄の年平均値の状況は、横ばいで推移している。また、全ての年度で環境基準を満足している。

表 2-2.6 二酸化硫黄測定結果

番号	測定局	年度	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値が0.1ppmを超えた時間数とその割合		日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値の2%除外値	日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準の長期的評価による日平均値が0.04ppmを超えた日数
						時間数とその割合		日数とその割合					
			日	時間	ppm	時間	%	日	%	ppm	ppm	有×, 無○	日
2	王仁公園	平成25年度	363	8,634	0.001	0	0.0	0	0.0	0.012	0.003	○	0
		平成26年度	363	8,629	0.001	0	0.0	0	0.0	0.011	0.003	○	0
		平成27年度	365	8,666	0.000	0	0.0	0	0.0	0.006	0.002	○	0

注 1. 番号は、図 2-2.3 に対応している。

注 2. 長期的評価における環境基準の達成：「年間を通じて測定した平均値の高い方から、2%の範囲にあるものを除外した値（以下「2%除外値」という。）が0.04ppm以下であり、かつ、日平均値が0.04ppmを超える日が2日以上連続しないこと。」をいう。

注 3. 短期的評価における環境基準の達成：「1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。」をいう。

出典：「平成26（2014）～28（2016）年版 環境データ集」（平成26～28年、枚方市）

② 窒素酸化物測定結果

二酸化窒素測定結果を表 2-2.7に、窒素酸化物測定結果を表 2-2.8に示す。二酸化窒素の年平均値の状況は、田辺局ではほぼ横ばいを示し、他の3局ではほぼ横ばい又は減少傾向を示している。また、いずれの測定局でも全ての年度で環境基準を満足している。

表 2-2.7 二酸化窒素測定結果

番号	測定局	年度	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値の最高値	1時間値が0.2ppmを超えた時間数とその割合		1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数とその割合		日平均値が0.006ppmを超えた日数とその割合		日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数とその割合		日平均値の年間98%値	98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日数
							時間	%	時間	%	日	%	日	%	ppm	日
1	田辺	平成25年度	357	8,511	0.012	0.055	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.024	0
		平成26年度	334	7,999	0.011	0.042	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.023	0
		平成27年度	362	8,678	0.011	0.053	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.022	0
2	王仁公園	平成25年度	362	8,620	0.013	0.060	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.029	0
		平成26年度	363	8,620	0.012	0.058	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.028	0
		平成27年度	363	8,654	0.012	0.056	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.027	0
3	長尾	平成25年度	358	8,562	0.017	0.095	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.032	0
		平成26年度	359	8,575	0.017	0.070	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.6	0.032	0
		平成27年度	364	8,653	0.015	0.063	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.029	0
4	津田	平成25年度	362	8,602	0.019	0.073	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.6	0.036	0
		平成26年度	362	8,630	0.018	0.068	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.033	0
		平成27年度	364	8,666	0.018	0.061	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.3	0.033	0

注 1. 番号は、図 2-2.3 に対応している。

注 2. 環境基準の達成：「年間を通じて測定した日平均値の低い方から、高い方に順に並べた時、低い方から数えて98%目の日数に該当する平均値（以下「年間98%値」という。）が0.06ppm以下であること。」をいう。

出典：「平成26～28年度版 京都府環境白書」（平成27～29年、京都府）

：「平成26（2014）～28（2016）年版 環境データ集」（平成26～28年、枚方市）

表 2-2.8 窒素酸化物測定結果

番号	測定局	年度	有効測定日数	測定時間	一酸化窒素			窒素酸化物 (NO+NO ₂)			
					年平均値	1時間値の最高値	日平均値の年間98%値	年平均値	1時間値の最高値	日平均値の年間98%値	年平均値(NO ₂ /NO+NO ₂)
					ppm	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm	%
1	田辺	平成25年度	357	8,511	0.003	0.083	0.012	0.014	0.125	0.037	82.1
		平成26年度	334	7,999	0.002	0.064	0.009	0.013	0.100	0.031	82.7
		平成27年度	362	8,678	0.002	0.067	0.010	0.013	0.106	0.030	82.3
2	王仁公園	平成25年度	362	8,620	0.003	0.106	0.015	0.016	0.148	0.045	83.2
		平成26年度	363	8,620	0.002	0.098	0.010	0.015	0.140	0.035	84.5
		平成27年度	363	8,654	0.002	0.097	0.012	0.013	0.140	0.040	86.9
3	長尾	平成25年度	358	8,562	0.007	0.135	0.024	0.025	0.200	—	70.1
		平成26年度	359	8,575	0.007	0.104	0.020	0.024	0.154	—	71.8
		平成27年度	364	8,653	0.006	0.084	0.019	0.021	0.134	—	71.7
4	津田	平成25年度	362	8,602	0.009	0.125	0.032	0.028	0.173	—	66.5
		平成26年度	362	8,630	0.008	0.135	0.026	0.026	0.177	—	68.1
		平成27年度	364	8,666	0.008	0.110	0.026	0.026	0.148	—	68.5

注1. 番号は、図 2-2.3 に対応している。

注2. “—” は出典資料に記載がないことを示す。

出典：「平成26～28年度版 京都府環境白書」（平成27～29年、京都府）

：「平成26（2014）～28（2016）年版 環境データ集」（平成26～28年、枚方市）

：「平成25（2013）～27（2015）年度大気汚染常時測定局測定結果」（平成26～28年、大阪府）

③ 光化学オキシダント測定結果

光化学オキシダント測定結果を表 2-2.9に示す。年平均値(昼間)は、田辺局0.033～0.035ppm、王仁公園局0.034～0.036ppmで推移している。両測定局とも、環境基準は満足していない。なお、京田辺市の属する綴喜地域（八幡市、京田辺市、井手町）における平成25年度～27年度の光化学スモッグ注意報発令回数は合計2回で、枚方市の属する北大阪地域（池田市、高槻市、枚方市、茨木市、箕面市、島本町、豊能町、能勢町）における平成25年度～27年度の光化学スモッグ注意報発令回数は合計12回であった。

表 2-2.9 光化学オキシダント測定結果

番号	測定局	年度	昼間測定日数	昼間測定時間	昼間の1時間値の年平均値	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数			昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数と時間数			昼間の1時間値の最高値	昼間の日最高1時間値の年平均値
						日	時間数とその割合		日数とその割合		時間		
							日	時間	ppm	時間		%	日
			1	田辺	平成25年度	365	5,399	0.033	97	490	9.1	0	0.0
平成26年度	338	4,980			0.034	93	487	9.8	1	0.3	1	0.127	0.051
平成27年度	363	5,349			0.035	101	566	10.6	3	0.8	10	0.132	0.053
2	王仁公園	平成25年度	365	5,405	0.034	101	531	9.8	2	0.5	3	0.125	0.051
		平成26年度	365	5,407	0.035	102	568	10.5	1	0.3	2	0.128	0.052
		平成27年度	366	5,429	0.036	102	585	10.8	3	0.8	8	0.129	0.052

注1. 番号は、図 2-2.3 に対応している。

注2. 環境基準の達成：「昼間（5～20時）の時間帯において、1時間値が0.06ppm以下であること。」をいう。

出典：「平成26～28年度版 京都府環境白書」（平成27～29年、京都府）

：「平成26（2014）～28（2016）年版 環境データ集」（平成26～28年、枚方市）

④ 浮遊粒子状物質測定結果

浮遊粒子状物質測定結果を表 2-2.10に示す。田辺局の年平均値はほぼ横ばいで推移し、他の3局では年平均値は概ね減少傾向を示している。また、いずれの測定局でも環境基準を満足している。

表 2-2.10 浮遊粒子状物質測定結果

番号	測定局	年度	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数とその割合		日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値の2%除外値	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準の長期的評価による日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数
			日	時間	mg/m ³	時間	%	日	%	mg/m ³	mg/m ³	有×, 無○	日
1	田辺	平成25年度	363	8,710	0.023	0	0.0	0	0.0	0.118	0.051	○	0
		平成26年度	332	8,025	0.021	0	0.0	0	0.0	0.085	0.046	○	0
		平成27年度	360	8,686	0.020	0	0.0	0	0.0	0.082	0.044	○	0
2	王仁公園	平成25年度	361	8,671	0.022	0	0.0	0	0.0	0.110	0.059	○	0
		平成26年度	362	8,695	0.017	0	0.0	0	0.0	0.099	0.042	○	0
		平成27年度	364	8,728	0.016	0	0.0	0	0.0	0.103	0.040	○	0
3	長尾	平成25年度	362	8,670	0.020	0	0.0	0	0.0	0.168	0.054	○	0
		平成26年度	363	8,697	0.019	0	0.0	0	0.0	0.106	0.043	○	0
		平成27年度	364	8,727	0.017	0	0.0	0	0.0	0.130	0.042	○	0
4	津田	平成25年度	365	8,728	0.024	0	0.0	0	0.0	0.170	0.060	○	0
		平成26年度	362	8,676	0.019	0	0.0	0	0.0	0.083	0.049	○	0
		平成27年度	272	6,556	0.016	0	0.0	0	0.0	0.115	0.047	○	0

注1. 番号は、図 2-2.3 に対応している。

注2. 長期的評価における環境基準の達成：「日平均値の2%除外値が0.10mg/m³以下であり、かつ、日平均値が0.1mg/m³を超えた日が2日以上連続しないこと。」をいう。

注3. 短期的評価における環境基準の達成：「1時間値が0.20mg/m³以下であり、かつ、日平均値が0.1mg/m³以下であること。」をいう。

出典：「平成26～28年度版 京都府環境白書」（平成27～29年、京都府）

：「平成26（2014）～28（2016）年版 環境データ集」（平成26～28年、枚方市）

⑤ 微小粒子状物質

微小粒子状物質測定結果を表 2-2.11に示す。田辺局では、平成25年度の短期基準が超過したことにより、平成25年度においては環境基準を満足しなかったが、平成26年度及び平成27年度においては、環境基準を満足した。王仁公園局での微小粒子状物質の測定は、平成26年3月より開始されており、平成26～27年度は環境基準を満足していた。なお、平成25年度については、有効測定日数が250日以下のため環境基準の達成についての評価はできない。

表 2-2. 11 微小粒子状物質の測定結果

番号	測定局	年度	有効測定日数	年平均値	日平均値が $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数とその割合		1 時間値の最高値	日平均値の年間 98% 値
			日	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	日	%	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	$\mu\text{g}/\text{m}^3$
1	田辺	平成 25 年度	363	14.4	12	3.3	82	36.0
		平成 26 年度	333	14.7	5	1.5	64	33.6
		平成 27 年度	361	13.6	7	1.9	66	35.0
2	王仁公園	平成 25 年度	31	16.0	2	6.5	—	40.2
		平成 26 年度	363	13.4	4	1.1	—	32.7
		平成 27 年度	360	12.2	2	0.6	—	31.5

注 1. 番号は、図 2-2. 3 に対応している。

注 2. 環境基準の達成：「長期基準として、年平均値が $15 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ短期基準として日平均値の年間 98% 値が $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。」をいう。

注 3. “—” は出典資料に記載がないことを示す。

出典：「平成 26～28 年度版 京都府環境白書」（平成 27～29 年、京都府）

：「平成 26（2014）～28（2016）年版 環境データ集」（平成 26～28 年、枚方市）

⑥ ダイオキシン類

大気環境中のダイオキシン類測定結果を表 2-2. 12 に示す。王仁公園局では、平成 24 年度と平成 26 年度のみ測定を実施している。

表 2-2. 12 大気環境中のダイオキシン類測定結果（枚方市）

番号	測定局	年度	測定値 ($\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$)				
			春	夏	秋	冬	年平均
2	王仁公園	平成 24 年度	0.015	0.012	0.015	0.036	0.020
		平成 25 年度	—	—	—	—	—
		平成 26 年度	0.011	0.015	0.010	0.010	0.012
		平成 27 年度	—	—	—	—	—
		平成 28 年度	—	—	—	—	—

注 1. 番号は、図 2-2. 3 に対応している。

注 2. “—” は測定が行われなかったことを示す。

注 3. 環境基準の達成：「年平均値 $0.6 \text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ 以下であること。」をいう。

出典：「平成 25（2013）～29（2017）年版 環境データ集」（平成 25～29 年、枚方市）

3) 騒音に係る環境の状況

① 自動車騒音

調査地域周辺では、京田辺市10地点、枚方市で6地点において自動車騒音測定を実施している。各地点における自動車騒音測定結果を表 2-2.13に、調査地域周辺における自動車騒音及び環境騒音測定位置を図 2-2.4に示す。

京田辺市及び枚方市の5地点で環境基準を超過したが、全ての地点で要請限度値は下回っている。なお、調査地域周辺では主要幹線道路を対象として道路に面する地域に立地する住居ごとの環境基準達成率（面的評価）も実施しており、参考として表 2-2.14に示す。

表 2-2.13 自動車騒音測定結果

年度	市	地域 類型	近接 空間 特例	番号	路線名	測定場所	騒音測定結果 (dB)					
							等価騒音 レベル		騒音 環境基準		要請限度値	
							昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
平成 26 年度	京 田 辺 市	A	無	1	国道1号(京都南道路)	京田辺市山手西	56	52	60	55	70	65
		A	無	2	(併) 国道1号 (第二京阪道路)	京田辺市山手西	56	52	60	55	70	65
		B	有	3	国道307号	京田辺市田辺西川原	73	69	70	65	75	70
		B	有	4	府道八幡木津線	京田辺市新高木	64	58	70	65	75	70
		A	有	5	府道八幡木津線	京田辺市興戸地藏谷	68	61	70	65	75	70
		B	無	6	市道新田辺駅前線	京田辺市田辺明田	66	60	65	60	75	70
		A	無	7	市道山手幹線	京田辺市大住ケ丘4丁目	68	62	60	55	70	65
		B	有	8	府道八幡木津線	京田辺市興戸犬伏	69	66	70	65	75	70
	枚 方 市	A	有	9	国道1号(第二京阪道路)	枚方市長尾台4-11	49	47	70	65	75	70
		A	有	10	国道1号(第二京阪道路)	枚方市津田東町3-22	49	46	70	65	75	70
		A	有	11	国道307号(旧道)	枚方市尊延寺6-23	70	66	70	65	75	70
平成 27 年度	京 田 辺 市	B	有	12	国道24号 (京奈道路)	京田辺市新畠	61	54	70	65	75	70
		-	無	13	国道24号 (京奈道路)	京田辺市普賢寺上大門	52	45	65	60	75	70
	枚 方 市	A	有	14	府道枚方山城線	枚方市宗谷1丁目	70	64	70	65	75	70
		A	有	15	国道1号(第二京阪道路)	枚方市長尾台4-11	50	48	70	65	75	70
		A	有	16	国道1号(第二京阪道路)	枚方市津田東町3-22	49	46	70	65	75	70

注1. dBとは、計量法(平成4年法律第51号)に定める音圧レベルの計量単位をいう。

注2. 測定日は以下のとおりである。

京田辺市：平成26年度は平成26年11月6日～12月9日、平成27年度は平成27年12月1日～2日。

枚方市：平成26年度は、国道1号(第二京阪道路)では平成26年11月5日～6日、国道307号は平成26年11月19日～20日。平成27年度は、府道枚方山城線では平成27年11月11日～12日、国道1号(第二京阪道路)は平成27年11月4日～5日。

注3. 時間区分は、昼間(6～22時)、夜間(22時～翌日6時)とする。

注4. 地域類型は以下のとおりである。

A：第1・2種低層住居専用地域、第1・2種中高層住居専用地域

B：第1・2種住居地域、準住居地域

C：近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域

注5. 近接空間特例：幹線交通を担う道路近接空間（高速道路、国道、府道及び4車線以上の市町村道から15m（2車線以下）又は20m（2車線超）の範囲）における基準値の適用の有無を表す。

注6. ■グレー網掛けは基準値を超過したことを表す。

注7. 京田辺市で環境基準の適応が無い地点はB類型として評価、要請限度の適用がない地点については、b区域として評価した。

注8. 番号は、図 2-2.4 に対応している。

出典：「平成27・28年度版 京都府環境白書」（平成28・29年、京都府）

：「平成26・27年度環境騒音モニタリング調査結果報告書」（平成28・29年、大阪府環境農林水産部）

表 2-2. 14(1) 自動車騒音面的評価結果（京田辺市）

市	路線名	評価区間の起点	評価区間の終点	面的評価の結果				
				評価 住居数 (戸)	環境基準達成 住居数 (戸)		環境基準 達成率 (%)	
					昼間	夜間	昼間	夜間
京田 辺 市	国道 24 号 (京奈道路)	京田辺市大住高島	京田辺市大住片岸	1	1	1	100	100
		京田辺市大住片岸	京田辺市大住野上	9	9	9	100	100
		京田辺市大住野上	京田辺市大住平谷	7	7	7	100	100
		京田辺市大住平谷	京田辺市興戸大谷	271	271	271	100	100
		京田辺市興戸大谷	京田辺市普賢寺上大門	2	2	2	100	100
		京田辺市普賢寺上大門	京田辺市普賢寺小田垣内	11	11	11	100	100
	府道生駒井手線	京田辺市打田宮本	京田辺市打田宮下	57	57	57	100	100
		京田辺市	京田辺市打田宮本	8	8	8	100	100

表 2-2. 14(2) 自動車騒音面的評価結果（枚方市）

市	路線名	評価区間の起点	評価区間の終点	面的評価の結果				
				評価対象 住居等 (戸)	昼・夜間 とも基 準 値 以 下 (%)	昼 間 の み 基 準 値 以 下 (%)	夜 間 の み 基 準 値 以 下 (%)	昼・夜間 とも基 準 値 超 過 (%)
枚 方 市	国道 1 号 (第二京阪道路)	枚方市長尾台 3	枚方市長尾台	377	100.0	0.0	0.0	0.0
		枚方市津田東 3-27	枚方市津田東町	195	100.0	0.0	0.0	0.0
		枚方市津田東町	枚方市津田南町	66	100.0	0.0	0.0	0.0
		枚方市津田南町	枚方市津田南町 1-40	16	100.0	0.0	0.0	0.0
	国道 307 号(旧道)	枚方市尊延寺	枚方市杉 1-6	457	96.7	1.1	0.0	2.2
		枚方市杉 1-6	枚方市津田東町 3-27	8	100.0	0.0	0.0	0.0
	国道 307 号	枚方市津田東町 3-27	枚方市津田西町 1-24	659	99.1	0.5	0.0	0.5
	府道枚方山城線	枚方市尊延寺	枚方市尊延寺	126	96.8	0.0	1.6	1.6
	府道枚方高槻線	枚方市尊延寺	枚方市杉 2-3	3	100.0	0.0	0.0	0.0

出典：「平成 28 年度版 京都府環境白書」（平成 29 年、京都府）

：「平成 27 年度環境騒音モニタリング調査結果報告書」（平成 29 年、大阪府環境農林水産部）

② 環境騒音

調査地域周辺では、枚方市の 3 地点で環境騒音測定を行っている。環境騒音測定結果を表 2-2. 15に、調査地域周辺における環境騒音測定位置を図 2-2. 4に示す。3 地点とも、昼間、夜間ともに環境基準を下回っている。

表 2-2. 15 環境騒音測定結果

市	地域 類型	番号	測定 地点	年度	等価騒音 レベル (dB)		基準値		環境基準との比較 ○：基準値以下 ×：基準値超過		支配的音源		測定期間 上段：開始 下段：終了
					昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	
枚 方 市	B	1	穂谷 3	平成 25 年度	48	32	55	45	○	○	特殊音、 自然音	自然音	2013/11/7 2013/11/7
	B	2	杉 1	平成 26 年度	42	38	55	45	○	○	自動車騒音、 自然音	自動車騒音、 自然音	2014/10/15 2014/10/15
	A	3	尊延寺 4	平成 27 年度	41	37	50	40	○	○	自動車騒音、 自然音	自動車騒音、 自然音	2015/10/13 2015/10/13

注 1. 番号は、図 2-2. 4 に対応している。

注 2. dB とは、計量法に定める音圧レベルの計量単位をいう。

注 3. 時間区分は、昼間(6～22 時)、夜間(22 時～翌日 6 時)とする。

出典：「平成 25～27 年度環境騒音モニタリング調査結果報告書」（平成 27～29 年、大阪府環境農林水産部）

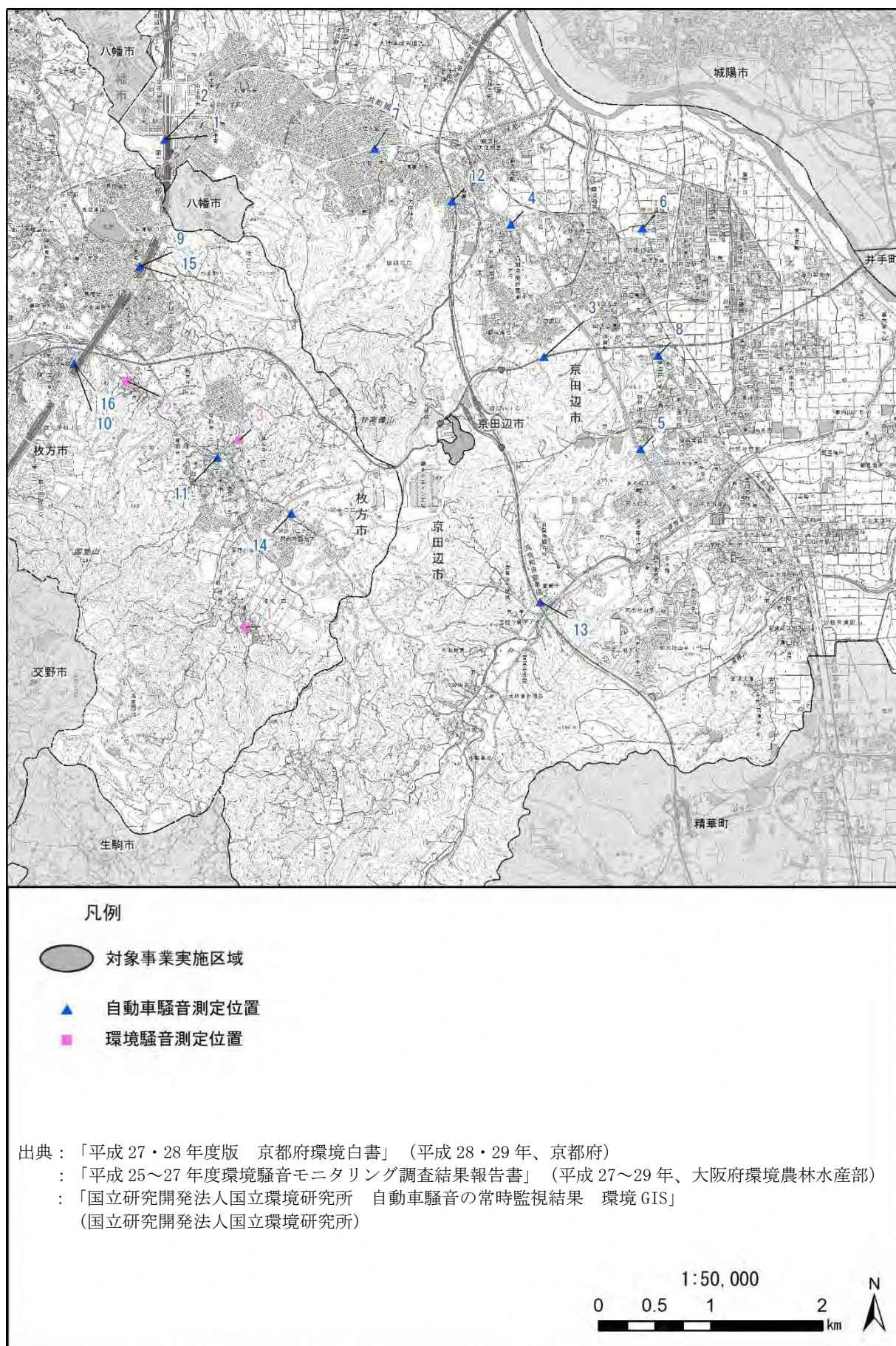


図 2-2.4 自動車騒音及び環境騒音測定位置図

4) 振動に係る環境の状況

調査地域周辺において、5 地点で道路交通振動測定を実施している。道路交通振動測定結果を表 2-2.16に、調査地域周辺の道路交通振動測定位置を図 2-2.5に示す。測定が実施された全ての地点で要請限度を下回っている。

表 2-2.16 道路交通振動測定結果

市	番号	路線名	測定地点	振動レベル[L ₁₀] (dB)		要請限度値 (dB)	
				昼間	夜間	昼間	夜間
京田辺市	1	市道新田辺駅前線	京田辺市田辺明田	43	33	65	60
	2	市道山手幹線	京田辺市大住ヶ丘4丁目	44	37		
	3	府道八幡木津線	京田辺市興戸犬伏	42	39		
枚方市	4	国道1号(第二京阪道路)	枚方市長尾台4-11	42	—	65	60
	5	国道1号(第二京阪道路)	枚方市津田東町3-22	33	—		

注1. 番号は、図 2-2.5 に対応している。

注2. dB とは、計量法に定める振動加速度レベルの計量単位をいう。

注3. 時間区分は、昼間(6～22時)、夜間(22時～翌日6時)とする。

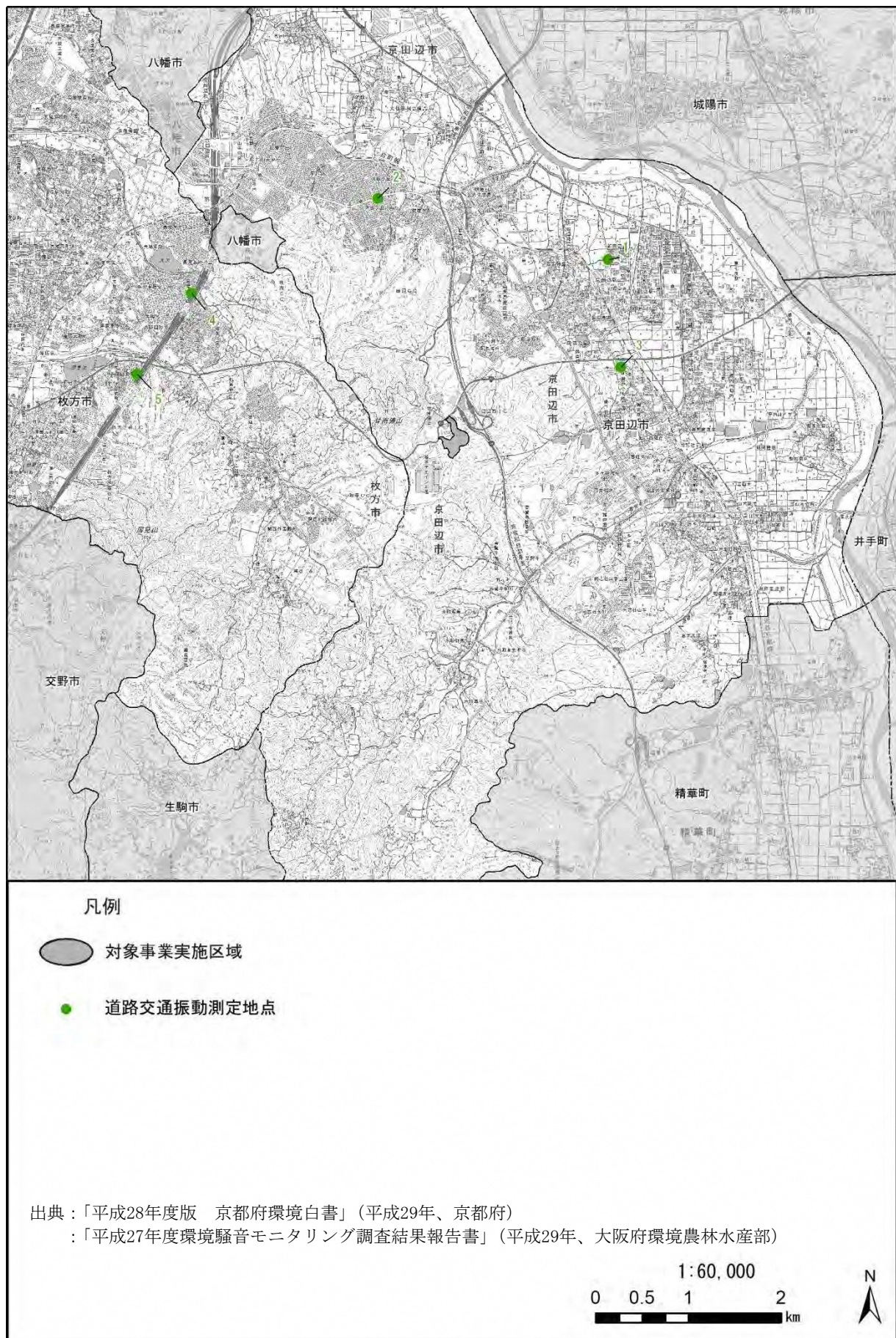
注4. “—” は測定が実施されていないことを示す。

出典：「平成28年度版 京都府環境白書」(平成29年、京都府)

：「平成27年度環境騒音モニタリング調査結果報告書」(平成29年、大阪府環境農林水産部)

5) 悪臭に係る環境の状況

調査地域周辺では、悪臭に係る測定は実施されていない。



(1) 水象、水質、水底の底質その他水に係る環境の状況

1) 一般的な水象の状況

調査地域周辺における河川・湖沼等の分布を図 2-2.6に示す。

調査地域周辺を流れる主な河川は、淀川水系の木津川である。木津川の水源は三重県と奈良県の県境を南北に走る布引山地に位置し、山城盆地を流れ、京都府・大阪府境付近で宇治川、桂川とともに淀川に合流する。そのほか調査地域周辺には、防賀川や普賢寺川など木津川の支流が流れている。湖沼の代表的なものは枚方市に位置する大池（枚方市長尾東町）で、これ以外にも調査地域周辺には大小のため池等が分布している。また、木津川沿いの平坦地には都市下水路が配置されている。

調査地域に最も近い水位観測所は、木津川の飯岡^{いのおか}水位観測所（京田辺市飯岡久保田）である。飯岡水位観測所における河川流量を表 2-2.17に示す。最も流量が多いのは7月、最も少ないのは12月である。

表 2-2.17 河川流量

月	流量 (m ³ /s)	月	流量 (m ³ /s)
1 月	30.20	7 月	180.38
2 月	27.85	8 月	74.79
3 月	68.80	9 月	112.54
4 月	54.55	10 月	30.56
5 月	38.95	11 月	27.20
6 月	72.00	12 月	24.02
平均			61.82

注. 観測年：平成 27 年

出典：「水文水質データベース」（国土交通省ホームページ）

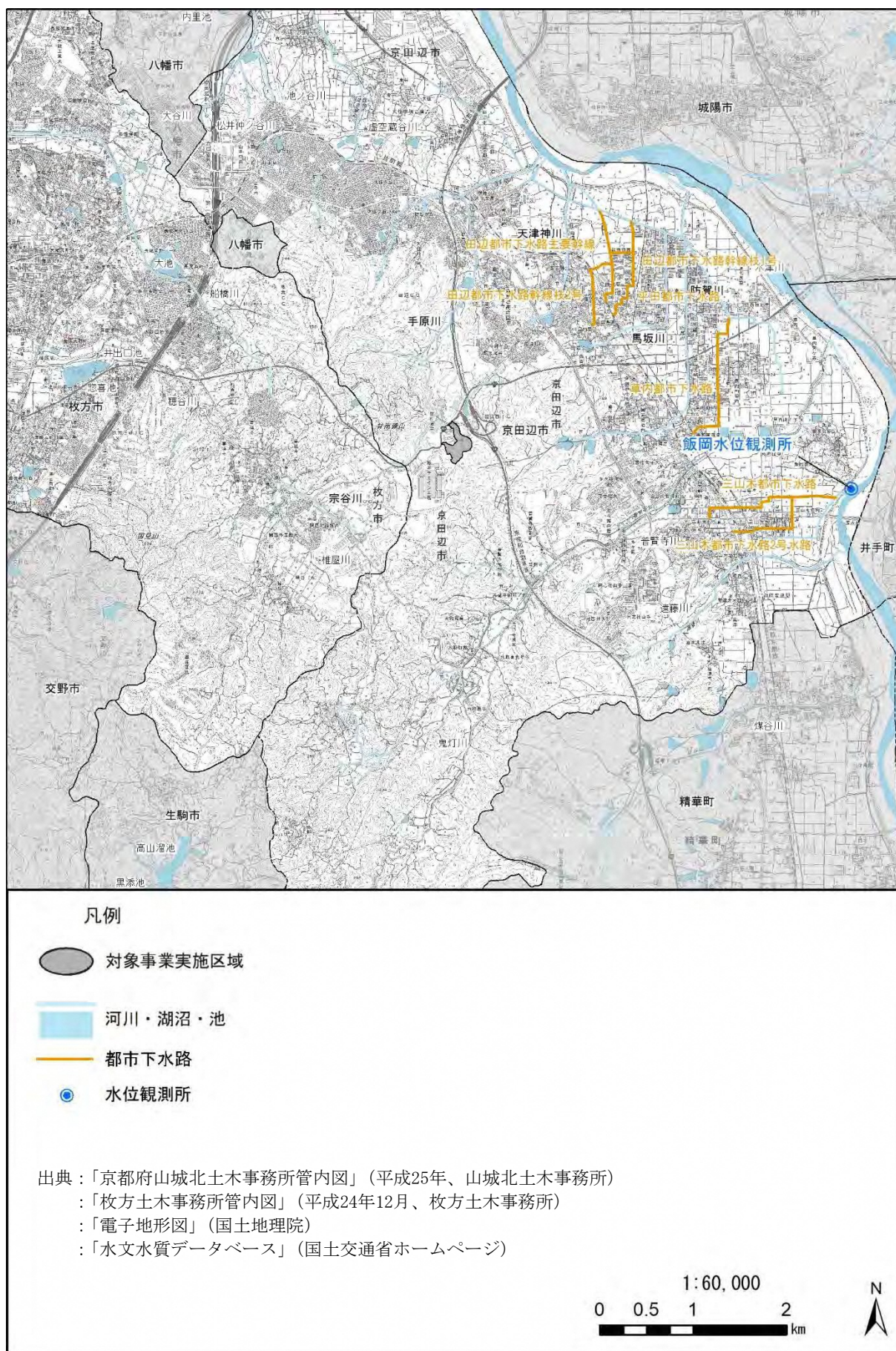


図 2-2.6 河川・湖沼等位置図

2) 水質に係る環境の状況

調査地域周辺では、防賀川や普賢寺川、手原川、穂谷川など、京田辺市内では20地点、枚方市では2地点において水質調査が実施されている。調査地域周辺の水質調査概要を表 2-2. 18に、水質調査位置を図 2-2. 7に示す。

各地点の水質調査測定結果を表 2-2. 19～表 2-2. 21に示す。

なお、京田辺市の対象河川には生活環境の保全に係る類型指定は行われていないが、枚方市の対象河川においては、船橋川及び穂谷川の全域がB類型に指定されている。

京田辺市における健康項目の測定結果では、いずれも環境基準を満足している。

表 2-2. 18 水質調査概要

番号	市	河川等	測定地点	健康項目	生活環境項目	特殊項目	その他
1	京田辺市	幹線排水路	神屋橋		○ ^{注3)}		
2		防賀川	新神矢橋	○ ^{注2)}	○	○	○
3		防賀川	中島橋		○ ^{注3)}		
4		馬坂川	浜新田橋		○ ^{注3)}		
5		鬼灯川	普賢寺小学校付近	○ ^{注2)}	○	○	○
6		普賢寺川	普賢寺小学校付近		○ ^{注3)}		
7		普賢寺川	学園橋		○ ^{注3)}		
8		普賢寺川	木津川合流部手前	○ ^{注2)}	○	○	○
9		手原川	枚方市境界付近	○	○	○	○
10		手原川	薪溜池橋	○ ^{注2)}	○	○	○
11		手原川	木津川合流手前	○ ^{注2)}	○	○	○
12		竜王谷川	野上橋	○ ^{注2)}	○	○	○
13		直田川	古屋敷橋	○ ^{注2)}	○	○	○
14		天津神川	一休ヶ丘バス停付近	○ ^{注2)}	○	○	○
15		遠藤川	下切山橋	○ ^{注2)}	○	○	○
16		田辺用水路	草屋橋		○ ^{注3)}		
17		鑄川	新水取橋付近	○ ^{注2)}	○	○	○
18		責谷川	責谷川上流	○ ^{注2)}	○	○	○
19		虚空蔵谷川	虚空蔵谷橋	○ ^{注2)}	○	○	○
20		宇頭城川	普賢寺公民館付近	○ ^{注2)}	○	○	○
21	枚方市	船橋川	新字治橋		○		
22		穂谷川	上渡場橋		○		

注1. 番号は、図 2-2. 7に対応している。

注2. 健康項目（カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀及びPCB）のうちPCBは、測定が実施されていない。

注3. 生活環境項目（水素イオン濃度、浮遊物質、生物化学的酸素要求量、化学的酸素要求量、大腸菌群数、全窒素、全りん、全亜鉛及びノルマルヘキサン抽出物質）のうち、全亜鉛は、測定が実施されていない。

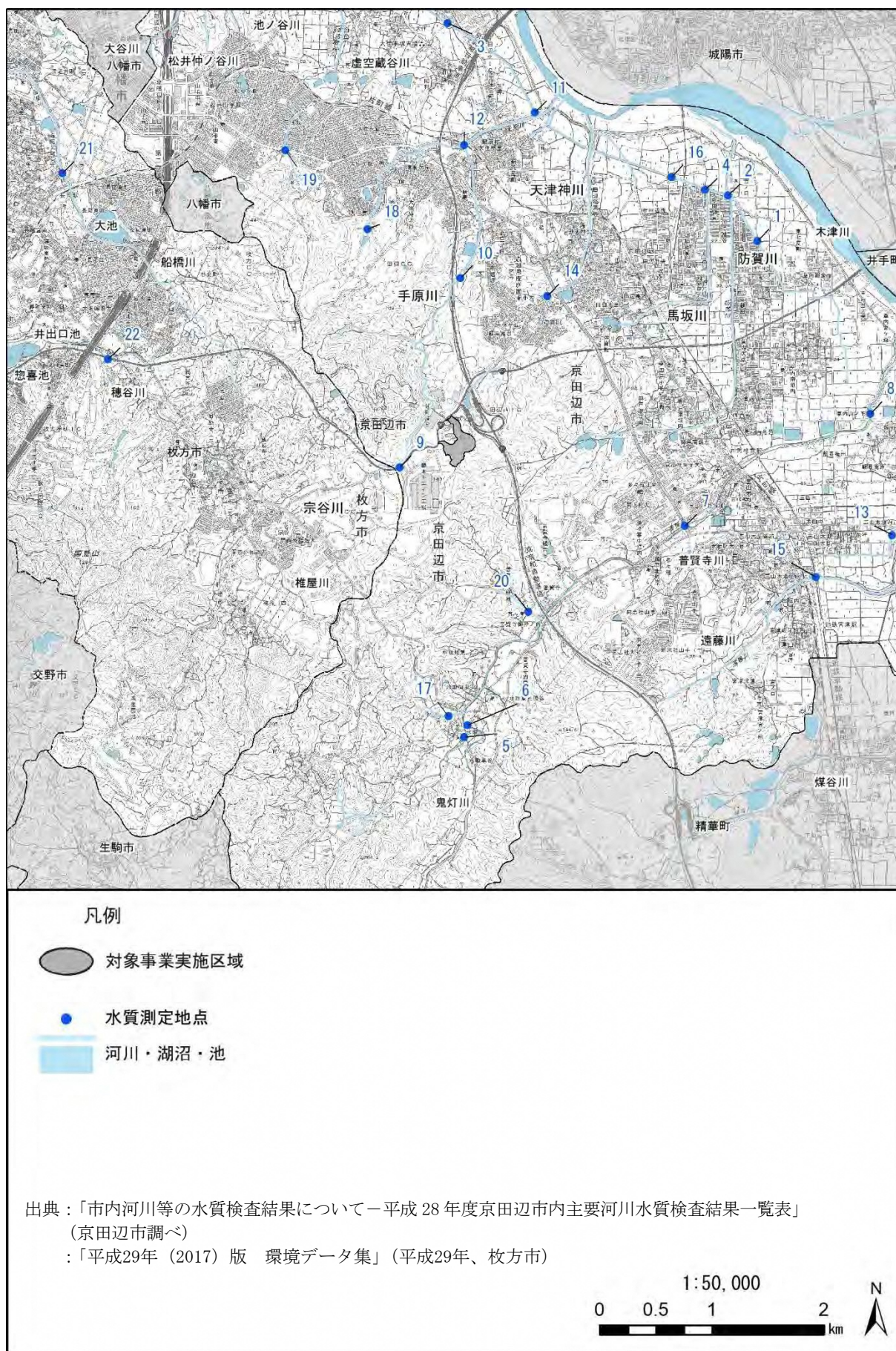


図 2-2.7 水質調査位置図

表 2-2.19 水質調査測定結果（京田辺市：健康項目）

番号	河川等	測定地点名	カドミウム	全シアン	鉛	六価 クロム	砒素	総水銀	PCB
			mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
1	幹線排水路	神屋橋	－	－	－	－	－	－	－
			－	－	－	－	－	－	－
2	防賀川	新神矢橋	<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
			<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
3	防賀川	中島橋	－	－	－	－	－	－	－
			－	－	－	－	－	－	－
4	馬坂川	浜新田橋	－	－	－	－	－	－	－
			－	－	－	－	－	－	－
5	鬼灯川	普賢寺	<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
		小学校付近	<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
6	普賢寺川	普賢寺	－	－	－	－	－	－	－
		小学校付近	－	－	－	－	－	－	－
7	普賢寺川	学園橋	－	－	－	－	－	－	－
			－	－	－	－	－	－	－
8	普賢寺川	木津川	<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
		合流点手前	<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
9	手原川	枚方市	<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	<0.0005
		境界付近	<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	<0.0005
10	手原川	薪溜池橋	<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
			<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
11	手原川	木津川	<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
		合流手前	<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
12	竜王谷川	野上橋	<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
			<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
13	直田川	古屋敷橋	<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
			<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
14	天津神川	一休ヶ丘	<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
		バス停付近	<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
15	遠藤川	下切山橋	<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
			<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
16	田辺用水路	草屋橋	－	－	－	－	－	－	－
			－	－	－	－	－	－	－
17	錆川	新水取橋	<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
		付近	<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
18	責谷川	責谷川上流	<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
			<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
19	虚空蔵谷川	虚空蔵谷橋	<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
			<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
20	宇頭城川	普賢寺	<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
		公民館付近	<0.0003	<0.1	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	－
人の健康の保護に関する環境基準			0.003 以下	検出され ないこと	0.01 以下	0.05 以下	0.01 以下	0.0005 以下	検出され ないこと

注 1. 上段：平成 28 年 7 月 20 日採取、下段：平成 28 年 11 月 14 日採取。

注 2. “<” は報告下限値未満、“－” は測定項目外を示す。

注 3. 番号は、図 2-2.7 に対応している。

出典：「市内河川等の水質検査結果について－平成 28 年度京田辺市内主要河川水質検査結果一覧表」
（京田辺市調べ）

表 2-2.20(1) 水質調査測定結果（京田辺市：生活環境項目）

番号	河川等	測定地点名	pH	SS	BOD	COD	大腸菌 群数	全窒素	全りん	全亜鉛
			－	mg/L	mg/L	mg/L	MPN/100mL	mg/L	mg/L	mg/L
1	幹線排水路	神屋橋	8.9	9	2.5	7.6	3.3×10^2	0.76	0.23	－
			7.5	8	3.9	13.0	2.2×10^2	1.2	0.1	－
2	防賀川	新神矢橋	8.6	7	2.1	7.3	1.1×10^3	0.62	0.25	0.005
			7.4	18	4.4	14.0	3.3×10	1.2	0.1	0.016
3	防賀川	中島橋	7.2	14	2.7	9.6	1.1×10^4	1.7	0.22	－
			7.5	3	1.9	5.3	3.3×10^3	1.6	0.11	－
4	馬坂川	浜新田橋	7.9	5	2.1	7.0	3.3×10^3	0.98	0.27	－
			7.3	<1	2.3	5.8	1.4×10^2	1.0	0.043	－
5	鬼灯川	普賢寺 小学校付近	7.8	3	1.3	4.6	7.9×10^3	1.4	0.17	0.011
			7.5	3	1.2	4.8	1.7×10^2	1.7	0.15	0.006
6	普賢寺川	普賢寺 小学校付近	7.6	4	1.6	5.2	7.9×10^3	0.76	0.14	－
			7.4	3	0.9	3.8	1.1×10^3	0.75	0.054	－
7	普賢寺川	学園橋	8.6	5	1.1	5.2	1.3×10^3	0.94	0.11	－
			7.9	4	1.3	3.5	3.3×10^2	1.1	0.058	－
8	普賢寺川	木津川 合流点手前	7.7	4	1.2	5.9	4.9×10^3	3.9	0.13	0.007
			8.0	2	1.4	3.5	3.3×10^2	1.1	0.04	0.008
9	手原川	枚方市 境界付近	7.6	4	3.2	9.1	4.9×10^3	3.3	0.14	0.017
			7.5	16	8.7	10.0	3.5×10^2	3.4	0.054	0.017
10	手原川	薪溜池橋	6.6	<1	1.4	2.3	1.3×10^3	1.4	0.036	0.006
			7.3	1	1.4	4.3	2.3×10^2	2	0.025	0.001
11	手原川	木津川 合流手前	8.2	2	1.5	5.4	2.3×10^2	1.3	0.039	0.004
			7.7	1	1.1	5.3	4.9×10^2	1.3	0.028	0.007
12	竜王谷川	野上橋	10.1	1	3.4	10.0	<1.8	1.3	0.12	0.008
			8.7	6	2.7	7.9	2.3×10^2	1.0	0.061	0.015
13	直田川	古屋敷橋	8.1	4	2.3	8.7	2.3×10^2	1.1	0.4	0.003
			9.2	4	2.1	12.0	1.7×10^2	1.2	0.29	0.031
14	天津神川	一休ヶ丘 バス停付近	8.8	4	1.2	5.6	2.3×10^3	1.1	0.058	0.007
			8.4	3	3.1	6.6	7.9×10^2	9.2	0.057	0.011
15	遠藤川	下切山橋	8.6	5	2.0	7.0	3.3×10^3	0.96	0.095	0.011
			7.8	1	1.4	6.5	4.9×10^2	1.3	0.03	0.009
16	田辺用水路	草屋橋	7.7	3	1.2	5.0	2.3×10^4	1.3	0.12	－
			8.0	2	1.3	5.1	4.9×10^2	1.2	0.059	－
17	錆川	新水取橋付近	8.2	2	1.8	6.0	2.3×10^3	1.4	0.098	0.002
			7.9	1	1.1	4.1	7.9×10^2	1.2	0.035	0.005
18	責谷川	責谷川上流	7.2	8	1.3	6.0	2.3×10^3	0.81	0.068	0.003
			7.2	3	1.5	3.7	4.9×10	0.5	0.087	0.004
19	虚空蔵谷川	虚空蔵谷橋	7.2	2	2.8	7.7	2.3×10^2	1.2	0.15	0.007
			7.3	7	2.9	6.7	2.3×10^2	0.88	0.12	0.014
20	宇頭城川	普賢寺 公民館付近	7.9	4	2.4	7.1	4.9×10^3	1.1	0.13	0.003
			7.8	<1	1.6	5.4	4.9×10^2	1.2	0.05	0.004

注 1. 上段：平成 28 年 7 月 20 日採取、下段：平成 28 年 11 月 14 日採取。

注 2. pH は水素イオン濃度、SS は浮遊物質質量、BOD は生物化学的酸素要求量、COD は化学的酸素要求量のことである。

注 3. “<” は報告下限値未満、“－” は測定項目外を示す。

注 4. 番号は、図 2-2.7 に対応している。

出典：「市内河川等の水質検査結果について－平成 28 年度京田辺市内主要河川水質検査結果一覧表－」（京田辺市調べ）

表 2-2. 20(2) 水質調査測定結果（枚方市：生活環境項目）

番号	河川等	測定地点名	pH	BOD		COD		溶存酸素量		大腸菌群数		浮遊物質	
			最小～最大	最小～最大	平均	最小～最大	平均	最小～最大	平均	最小～最大	平均	最小～最大	平均
			—	mg/L		mg/L		mg/L		(MPN/100mL)		mg/L	
21	船橋川	新字治橋	7.4～9.7	1.6～5.8	3.8	5.6～6.7	6.0	8.7～18	13	$4.9 \times 10^3 \sim 1.1 \times 10^5$	3.0×10^4	2～7	5
22	穂谷川	上渡場橋	8.1～8.5	2.2～9.7	5.1	5.1～10	7.9	7.6～11	9.4	$1.4 \times 10^3 \sim 7.9 \times 10^4$	3.3×10^4	1～57	19

番号	河川等名	測定地点名	全窒素		全りん		全亜鉛		ノニルフェノール		LAS	
			最小～最大	平均	最小～最大	平均	最小～最大	平均	最小～最大	平均	最小～最大	平均
			mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L	
21	船橋川	新字治橋	1.2～2.7	1.9	0.15～0.28	0.24	0.004～0.013	0.009	—	—	—	—
22	穂谷川	上渡場橋	2.0～11	5.6	0.18～1.4	0.69	0.008～0.013	0.011	—	—	—	—

注 1. LAS は直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩のことである。

注 2. pH は水素イオン濃度、BOD は生物化学的酸素要求量、COD は化学的酸素要求量のことである。

注 3. “—” は測定項目外を示す。

注 4. 番号は、図 2-2. 7 に対応している。

出典：「平成 29 年（2017）版 環境データ集」（平成 29 年、枚方市）

表 2-2.21 水質調査測定結果（京田辺市：特殊項目等）

番号	河川等	測定地点名	生活環境項目	特殊項目				その他	
			n-ヘキサン抽出物質	銅	溶解性鉄	溶解性マンガン	全クロム	有機りん	陰イオン界面活性剤
			mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
1	幹線排水路	神屋橋	<0.5	－	－	－	－	－	0.03
			0.8	－	－	－	－	－	0.02
2	防賀川	新神矢橋	<0.5	<0.01	0.58	<0.01	<0.01	<0.1	0.04
			<0.5	<0.01	0.27	<0.01	<0.01	<0.1	0.04
3	防賀川	中島橋	<0.5	－	－	－	－	－	0.03
			0.5	－	－	－	－	－	0.03
4	馬坂川	浜新田橋	<0.5	－	－	－	－	－	0.04
			<0.5	－	－	－	－	－	0.02
5	鬼灯川	普賢寺小学校付近	<0.5	<0.01	0.26	0.04	<0.01	<0.1	0.03
			<0.5	<0.01	0.15	0.04	<0.01	<0.1	0.02
6	普賢寺川	普賢寺小学校付近	<0.5	－	－	－	－	－	0.02
			0.8	－	－	－	－	－	0.02
7	普賢寺川	学園橋	<0.5	－	－	－	－	－	0.02
			0.5	－	－	－	－	－	0.03
8	普賢寺川	木津川合流点手前	0.7	<0.01	0.19	0.02	<0.01	<0.1	0.04
			0.7	<0.01	0.22	0.02	<0.01	<0.1	0.03
9	手原川	枚方市境界付近	<0.5	<0.01	0.61	0.13	<0.01	<0.1	0.06
			<0.5	<0.01	0.33	<0.01	<0.01	<0.1	0.07
10	手原川	薪溜池橋	<0.5	<0.01	0.13	0.04	<0.01	<0.1	0.02
			0.5	<0.01	0.13	0.01	<0.01	<0.1	0.06
11	手原川	木津川合流手前	0.6	<0.01	0.17	0.02	<0.01	<0.1	0.06
			<0.5	<0.01	0.11	<0.01	<0.01	<0.1	0.03
12	竜王谷川	野上橋	0.7	<0.01	0.18	<0.01	<0.01	<0.1	0.05
			<0.5	<0.01	0.24	<0.01	<0.01	<0.1	0.03
13	直田川	古屋敷橋	<0.5	<0.01	0.23	0.01	<0.01	<0.1	0.04
			0.7	<0.01	0.41	0.02	<0.01	<0.1	0.06
14	天津神川	一休ヶ丘バス停付近	<0.5	<0.01	0.13	<0.01	<0.01	<0.1	0.05
			1.5	<0.01	0.08	<0.01	<0.01	<0.1	0.08
15	遠藤川	下切山橋	<0.5	<0.01	0.37	0.04	<0.01	<0.1	0.04
			0.8	<0.01	0.26	0.02	<0.01	<0.1	0.04
16	田辺用水路	草屋橋	<0.5	－	－	－	－	－	0.03
			0.7	－	－	－	－	－	0.03
17	錆川	新水取橋付近	<0.5	<0.01	0.15	<0.01	<0.01	<0.1	0.03
			<0.5	<0.01	0.11	0.02	<0.01	<0.1	0.02
18	責谷川	責谷川上流	0.8	<0.01	0.28	<0.01	<0.01	<0.1	0.03
			<0.5	<0.01	0.13	<0.01	<0.01	<0.1	0.01
19	虚空蔵谷川	虚空蔵谷橋	<0.5	<0.01	0.43	0.05	<0.01	<0.1	0.03
			1.4	<0.01	0.48	0.07	<0.01	<0.1	0.02
20	宇頭城川	普賢寺公民館付近	<0.5	<0.01	0.26	0.02	<0.01	<0.1	0.04
			1.1	<0.01	0.16	0.05	<0.01	<0.1	0.04

注 1. 上段：平成 28 年 7 月 20 日採取、下段：平成 28 年 11 月 14 日採取。

注 2. “<” は報告下限値未満、“－” は測定項目外を示す。

注 3. 番号は、図 2-2.7 に対応している。

出典：「市内河川等の水質検査結果について－平成 28 年度京田辺市内主要河川水質検査結果一覧表－」（京田辺市調べ）

3) 水底の底質に係る環境の状況

調査地域周辺では水底の底質に係る測定は実施されていない。

4) 地下水に係る環境の状況

調査地域周辺における地下水の状況については、水質の全体的な地下水の水質の状況を把握するために実施する概況調査（4地点）及び地下水汚染が確認された地区について継続的に監視を行うために実施する継続監視調査（2地点）が行われている。また、地下水中のダイオキシンについては、枚方市により1地点において測定が実施されている。

調査地域周辺における地下水水質測定結果を表 2-2.22～表 2-2.24に示す。概況調査については、京田辺市では平成26年度のみ、枚方市では平成26年度～平成28年度に測定を実施している。ダイオキシン類については、枚方市で平成24年度のみ測定を実施している。

概況調査及び地下水中のダイオキシン類では、全ての測定地点で環境基準を満足しているが、継続監視調査では、京田辺市では平成26年度～平成28年度調査でほう素が、枚方市では平成27年度及び平成28年度調査で砒素が環境基準を満足していない。

表 2-2. 22 地下水水質測定結果（概況調査）

項目	番号 測定地点名				基準値
	平成 26 年度		平成 27 年度	平成 28 年度	
	No. 4729 (京田辺市)	杉責谷 (枚方市)	長尾家具町 (枚方市)	尊延寺 (枚方市)	
カドミウム	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下
全シアン	<0.1	N. D.	N. D.	N. D.	検出されないこと。
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下
六価クロム	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05mg/L 以下
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005mg/L 以下
アルキル水銀	-	-	-	-	検出されないこと。
PCB	-	N. D.	N. D.	N. D.	検出されないこと。
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/L 以下
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
クロロエチレン(別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004mg/L 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.01	<0.002	<0.002	<0.002	0.1mg/L 以下
1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04mg/L 以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1mg/L 以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下
トリクロロエチレン	<0.003	<0.002	<0.002	<0.002	0.01mg/L 以下
テトラクロロエチレン	<0.001	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01mg/L 以下
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/L 以下
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	0.003	0.01mg/L 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1.2	5.8	<0.08	1.4	10mg/L 以下
ふっ素	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.8mg/L 以下
ほう素	<0.1	0.02	0.02	0.02	1mg/L 以下
1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05mg/L 以下

注. “<” は報告下限値未満、“N. D.” は定量下限値未満、“-” は測定項目外を示す。

出典：「平成 26 年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」（平成 27 年、京都府）

：「平成 27（2015）～29（2017）年版 環境データ集」（平成 27～29 年、枚方市）

表 2-2. 23 地下水水質測定結果（継続監視調査）

項目	測定地点名						基準値
	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		
	No. 4830 (京田辺市)	尊延寺馬廻 (枚方市)	No. 4830 (京田辺市)	尊延寺馬廻 (枚方市)	No. 4830 (京田辺市)	尊延寺馬廻 (枚方市)	
鉛	－	0.008	－	0.009	－	0.008	0.01mg/L 以下
砒素	－	<0.005	－	0.011	－	0.014	0.01mg/L 以下
総水銀	－	<0.0005	－	<0.0005	－	<0.0005	0.0005mg/L 以下
ほう素	1.6	－	1.5	－	2.5	－	1mg/L 以下

注. “<” は報告下限値未満、“－” は測定項目外を示す。

出典：「平成 26～28 年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」（平成 27～29 年、京都府）

：「平成 27（2015）～29（2017）年版 環境データ集」（平成 27～29 年、枚方市）

表 2-2. 24 地下水中のダイオキシン類測定結果

市	測定場所	調査年度	測定結果	基準値
枚方市	枚方市穂谷	平成 24 年度	0.046pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L 以下

出典：「平成 25（2013）年版 環境データ集」（平成 25 年、枚方市）

(1) 土壌及び地盤の状況

1) 一般的な土壌の状況

調査地域周辺の土壌図を図 2-2.8に示す。山地及び丘陵地の土壌は、残積性未熟土壌、乾性褐色森林土壌が大半を占めている。調査地域東側を流れる木津川周辺の低地は中粗粒強グライ土壌、中粗粒褐色低地土壌がみられる。また、穂谷川や普賢寺川周辺には灰色低地土壌（中粗粒灰色低地土壌）が帯状に分布している。対象事業実施区域の土壌は残積性未熟土壌が大半を占めている。

出典：「土地分類基本調査（土壌図） 京都東北部・京都東南部」（昭和 59 年、京都府・滋賀県）
：「土地分類基本調査（土壌図） 京都西南部」（昭和 47 年、経済企画庁）
：「土地分類基本調査（土壌図） 大阪東北部・奈良・上野」（昭和 58 年、京都府）
：「土地分類基本調査（土壌図） 大阪西北部・大阪東北部」（昭和 53 年、大阪府）
：「土地分類基本調査（土壌図） 奈良・大阪東北部・大阪東南部」（昭和 59 年、奈良県）

2) 土壌に係る環境の状況

調査地域周辺における土壌中のダイオキシン類については、京田辺市及び枚方市による測定が実施されている。土壌中ダイオキシン類測定結果を表 2-2. 25に示し、土壌に係るダイオキシン類測定位置を図 2-2. 9に示す。

平成21年度～平成28年度における全16地点の調査では、いずれも環境基準を満足している。

表 2-2. 25(1) 土壌中ダイオキシン類測定結果（京田辺市）

番号	測定場所	測定値 (pg-TEQ/g)						基準値
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	
1	諏訪ヶ原公園	0. 16	－	0. 11	－	0. 52	－	1, 000 (pg-TEQ/g)
2	薪小学校	－	－	0. 05	－	－	－	
3	一休ヶ丘第 6 公園	2. 5	－	1. 1	－	1. 0	0. 76	
4	防賀川公園	－	－	0. 13	－	－	0. 79	
5	酒屋神社周辺	－	－	0. 05	－	－	－	
6	京田辺市野外活動センター	－	2. 1	－	5. 9	－	1. 7	
7	甘南備山(芝生公園)	－	10	－	－	5. 8	－	
8	田辺公園(多目的運動広場)	－	0. 49	－	0. 28	－	0. 46	
9	若宮公園	－	－	－	5. 4	－	－	
10	同志社大学多々羅キャンパス	－	0. 12	－	－	－	－	
11	大住ヶ丘公園	1. 5	－	－	5. 2	－	1. 2	
12	田辺中学校グラウンド	0. 29	－	－	－	0. 69	－	
13	普賢寺小学校	0. 16	－	－	0. 55	－	－	
14	同志社大学グラウンド	－	2. 5	－	－	8. 2	－	

注 1. 番号は、図 2-2. 9 に対応している。

注 2. “－” は測定を実施していないことを示す。

出典：「京田辺市におけるダイオキシン類の測定結果について」（京田辺市清掃衛生課調べ）

表 2-2. 25(2) 土壌中ダイオキシン類測定結果（枚方市）

番号	測定場所	測定値 (pg-TEQ/g)		基準値
		平成 21 年度	平成 24 年度	
15	枚方市立菅原小学校	0. 045	－	1, 000 pg-TEQ/g 以下
16	穂谷公園	－	0. 72	

注 1. 番号は、図 2-2. 9 に対応している。

注 2. “－” は測定を実施していないことを示す。

出典：「平成 22（2010）・25（2013）年版 環境データ集」（平成 22・25 年、枚方市）

3) 地盤の状況

「全国地盤環境情報ディレクトリ（平成27年度版）」（環境省）によると、調査地域周辺では地盤沈下は認められていない。

京田辺市では、地盤沈下の測定地点はないが、京都盆地における地盤沈下の傾向は鈍化してきている。

枚方市では、市域の地盤沈下状況を把握するため、市内42地点に一級水準点を設置して昭和47年度から水準測量を実施している。「平成29（2017）年版 環境データ集」（平成29年、枚方市）によると、枚方市では地盤沈下は沈静化しており、平成27年度の測定値は平成24年度と比べ、大きな変動はなかった。

また、京田辺市では、地下水の枯渇防止及び地下水資源の保全と生活用水等を確保することを目的とした京田辺市地下水保全要綱（昭和60年京田辺市告示第114号）を制定している。

枚方市では、市域の地盤沈下を防止するため昭和47年から平成25年の全面改正前の枚方市公害防止条例（昭和46年枚方市条例第38号）において地下水の採取に関する規制を行っており、全面改正後の枚方市公害防止条例（平成25年枚方市条例第67号）第4章においても、地下水の採取に関する規制が定められている。